

東住吉区 平成30年度運営方針

(子育て部会抜粋)

めざす成果及び戦略 1-1 【東住吉ゆめ応援プロジェクトの充実】

めざす状態

・東住吉区に住みたい、住み続けたいと思う子育て層の区民が増える。

戦略

・区内の地域資源(大学や商店街、企業等)と連携しながら、子育て層にとって関心の高い分野に特化した施策を区独自に展開する。

具体的取組

具体的取組1-1-1 【小学生英語交流の推進】

・区内在住の小学5,6年生25名を対象に6~9月にかけてサマー・イングリッシュ・キャンプ等を、11月~2月にかけて区内在住の小学3,4年生20名を対象に地域資源(商店街・大学等)と連携したイングリッシュ・スタディ・ツアーを実施し、英語力及び地域力を高める機会を提供。

具体的取組1-1-2 【中学生海外派遣の推進】

区内在住の中学生7名を対象に、夏休み等の期間を利用して、ホームステイやボランティア活動などの海外留学体験(約3週間)を通じて、地域への愛着を高めるとともに、グローバル感覚を養う機会を提供。

めざす成果及び戦略 1-2 【子育て・教育支援の充実】

めざす状態

- ・地域の関係機関や事業所と連携した取り組みを進め、子育てのしづらさを解消、前向きに子育てができる養護者を増やし、地域での子育てに孤立した親子と児童虐待に至る事例を減少させる。
- ・学校と連携して、子どもたちが力を発揮し円滑に学校生活を送れるようにする。

具体的取組1-2-1
【子育て支援の推進】

具体的取組1-2-2
【子育て力アップを応援する支援の推進】

戦略

- ・区内の子育て支援関係機関等と協働して、同世代や異世代間の交流を支援し子育てを応援するとともに、子育てにかかる情報提供が子育て層に行き届くようにする。
- ・子育てのしづらさや発達障がい(疑い)がある親子を早期発見し、早期に療育が受け入れられる仕組み、子育てや親育ちが支援できるような「場」を構築すると共に、子育て相談にも対応し、育児支援を強化する。
- ・発達障がい等のある児童生徒の行動面への支援や基礎学力の向上など各学校の課題に応じた教育活動を支援する。

具体的取組1-2-3
【ニーズに応じた学校への支援】

具体的
取組

具体的取組1-2-1 【子育て支援の推進】

○東住吉区子育て支援連絡会との協働による子育て施策の展開及び情報提供を行う。

- ・OHえん情報誌の作成・配布(毎月)
- ・区内幼稚園・保育園・保育所・認定こども園・小学校の職員との学習会
- ・乳幼児健診時に子育てOHえん情報保存版の配布や区社協配信のOHえんメールの周知などタイムリーな情報提供を行い、サービスの利用を促進。

○子育て相談・訪問によるサービス

○利用者支援専門員等による保育所資源やサービスの利用に関する相談・情報提供の拡充

○3名の家庭児童相談員による養育者への相談体制の充実と虐待の予防と早期発見のための取組の強化

○家庭での保育が一時的に困難になった乳幼児に対する、保育所等の実施施設における日中一時預かり(3ヶ所)

○地域親子サロンを活用した地域妊産婦教室の開催

○子どもの居場所ネットワークの推進

具体的取組1-2-2 【子育てケアアップを応援する支援の推進】

○子育てケアアップ「キャッチ&フォロー」の推進

≪早期発見≫発達障がい(疑い)等子育てのしづらさを持つ親子を、M-チャット等を使用した問診票により1歳6ヶ月健診、3歳児健診(いずれも16回/年)、心理相談(12回/年)等で選定。

≪早期療育≫

- ・子どもとの遊び方を学ぶ「すくすく教室」の実施(12回/年)
 - ・子育てのコツを学ぶ「親育てのプログラム(2歳児用・4,5歳児用)」を実施(年間6クール)
 - ・友達づくりや子育ての悩みなどを共有できる「交流の場」の構築及び地域で孤立しない相談対応の実施(2回/年)
 - ・平日に参加しづらい保護者を対象に、土日に単発のパパセミナー、ママセミナーを年2回実施。
 - ・子育てケアアップ講座受講修了者による企画、自主的な取組活動の側面支援。
- 臨床心理士による乳幼児期の発達相談・支援体制の充実

具体的取組1-2-3 【ニーズに応じた学校への支援】

- ・各学校と連携し、子どもや保護者にとって魅力ある学校づくりに向けた取組等(学校選択制など)をサポート、発信。
- ・発達障がいに精通した障がい児支援員が、学校を通じて、発達障がい児やその保護者等に対するサポートを年間通して実施(4~3月)。
- ・学校生活において多種多様な支援が必要な児童生徒へのサポートや、民間講師等を活用した学習支援等を実施。(4~3月)

めざす成果及び戦略 1-3 【子育て層が創るまちづくり活動への支援】

めざす状態

子育て層の区民が区政への関心を高め、主体的に区政運営に参画している。

戦略

- ・子育て層の区民にとって知りたい情報を容易に知ることができる環境にするため、SNSをフル活用して、子育て層に必要な情報を届ける。
- ・子育て層にとって東住吉区が「住みたい、住み続けたいまち」になるための課題等を的確に把握し、子育て層の区民との協働による区政運営を実現する。

具体的取組

具体的取組1-3-1 【区の広報媒体及び内容の充実】

- ・子育て層が見たいと思う情報の発信強化を目指した、区広報紙のリニューアル
- ・子育て層が広報紙を手に取りやすい配架場所の新規開拓（10箇所以上）
- ・子育て層に向けた情報発信サイト「LINE」の登録者数の増加
- ・区広報紙やホームページと、区の公式SNS（LINE、facebook、instagramなど）を連携させ、相互の情報をクロスメディア手法により効果的に発信（各媒体から相互に情報を利用することが可能）

具体的取組1-3-3 【区民等の参画と協働による区政運営】

- ・区政会議の開催（本会議3回、2部会各2回）
- ・広報媒体を活用した区政会議の意義や議事内容の区民への周知
- ・新・東住吉区将来ビジョンの実現に向けた、区民が主役となるまちづくりプロジェクト（e-sumiなでしこ）のサポート（月1回）
- ・大阪城南女子短期大学との包括連携会議（1回）
- ・大学や企業等と連携した取組の促進